

# 長門の話題

## Topics



油谷立石地区で防災訓練

### 自分の身は自分で守る

6月3日(日)、油谷立石地区で、警察や消防、海上保安部や地元住民など15団体213人が参加し、防災訓練が実施されました。

訓練は、前日の夕方から激しい雨が降り続き、土砂崩れの危険性が非常に高まったとの想定で行われ、旧文洋小学校に住民が警察や消防団の誘

導で避難しました。救急救命士が負傷者の重症度などを調べて治療の優先順位を付ける「トリアージ」を実施しました。また、救助隊は土砂崩れに巻き込まれた車の中からけが人を救出しました。  
大西市長は「自分たちの身は自分たちで守る意識を持つて欲しい」と話しました。



▲土砂崩れでつぶれた車のドアをこじ開ける

▼参加者は真剣そのもので取り組みました



▲長門市駅からの列車は超満員

▼蛍の光を楽しみながらのスタンプラリー



### JR利用で大いに賑わう

第4回大畑蛍のふる里祭り

6月9日(土)、JR渋木駅周辺を中心に第4回大畑蛍のふる里祭りが開催されました。

今年市のJR美祿線イベント支援事業としても実施され、国道316号線やJR美祿線の列車の中からも祭りのようすが見えるようにと、メイン会場をJR渋木駅に移して開催されました。

当日は曇り空の中、まつり

会場は焼き鳥や飲み物、焼きそばなどのバザーが出店しました。

長門市駅からの列車が到着するとたくさんの方が来場し、バザーには長い列がでけるなど、大変賑わいました。陽が落ちてから、蛍の鑑賞場所をめぐるスタンプラリーが始まり、蛍の幻想的な光を見て楽しんでいました。

新しい潜水プールで潜水実習

## 安全に基礎トレーニング



6月14日(木)、山口県立水産高校・大津緑洋高校水産校舎で、潜水プールを使った初めての潜水実習が実施されました。

このプールは、今年5月末に完成した深さ5メートルの潜水実習用のもので、海での潜水実習の前に天候に左右さ

れることなく基礎トレーニングができるようになりました。この日、初めて海洋技術科の生徒12人が潜水実習を行いました。スキューバは初体験の生徒がほとんどでしたが、すぐに潜ることができるようになり、2分間の潜水も難なくこなしていました

みすみハーブを愉しむ日

## ハーブの魅力に癒される

6月10日(日)、香月泰男美術館横のハーブ園周辺で、恒例の「みすみハーブを愉しむ日」が開催されました。会場では、ハーブと花の摘み取りや、ハーブグッズ販売、ハーブと花の苗販売、新鮮野菜販売、ハーブの香りが愉しめるハーブカフェなどたくさん

イベントが催されました。来場者は、焼き鳥や焼きそばを購入して会場内のベンチや芝生に座っておいしそうに食べていました。また、会場内のハーブ園では、来場者はハーブの香りを愉しんだり、絵を描いたりしていました。



三隅上地区と俵山で蛍祭り

## 蛍の季節を味わう

6月9日(土)、宗頭文化センター周辺で第15回三隅上地区ホタルまつりが行われました。このまつりは、蛍を通して川の環境について考えてもらおうと三隅上地区発展協議会が主催したもので、催し物会場では、地域住民によるバザーや蛍の一生の写真展示などが開かれました。

6月16日(土)には、俵山地区で第11回手作り蛍祭りin俵山が開催されました。こちらも会場には焼き鳥などのバザーが開かれ、小雨の中約500人が来場しました。日が落ちる頃には雨もあがり、七重河川公園には多くの蛍が乱舞し、来場者はその光を楽しみました。



▲三隅上地区ホタルまつりは雨のため蛍鑑賞は中止

▼俵山では雨が上がり、蛍の乱舞が見られました



ながと千年の森で植樹活動

## 山と緑を愛する心を育む



6月1日(金)、青海島にあるながと千年の森で植樹活動が行われました。これは、5月に開催された全国植樹祭の関連事業として、長門市と長門市花と緑のまちづくり推進協議会が共催で実施したもので、仙崎小学校5年生児童48人と青海地区住民、一般市民

ら合わせて約100人が参加しました。

開会式が終わると、仙崎小学校児童代表2人により記念碑の除幕が行われ、植樹が始まりました。児童たちはスコップやシャベルを使って、ヤブツバキや夏ミカンの苗木を植えていきました。

ダイバーが海底を清掃

## 捨てないことできれいに

6月2日(土)、青海島海水浴場でダイバーによる海底清掃が行われました。「青海島ダイビング事業連絡協議会」が主催したもので、きれいな海を守っていかうと行っているものです。今回は、大西長門市長と笠本山口県議会議員もダイビングに挑戦しました。



## 第1回長門市地域公共交通計画策定協議会

# 公共交通の将来を考える

6月6日(水)、長門市物産観光センターで第1回長門市地域公共交通計画策定協議会が開かれました。この協議会は、将来的な公共交通の維持・確保の指針となる計画を策定するために立ち上げられ、関係機関や学識経験者、地域住民の代表者など20人の委員が出

席しました。この日の協議会では、役員の選出や計画策定までのスケジュールなど5議案が承認されました。

今後協議会では、交通実態調査やニーズの把握、地域の意見を踏まえ、来年の3月までに計画案を取りまとめ、市に提出する予定です。



## 東日本大震災被災地への支援を続けよう！

東北地方太平洋沖地震に係る被災者支援長門市市民会議から

### 募金の状況(6月19日現在)

- ◆日本赤十字社山口県支部長 門市地区(市福祉課) 20,617,518円
- ◆山口県共同募金会長門支会(市社会福祉協議会) 5,199,963円

日本赤十字社、共同募金会とも、募金期間は平成24年9月30日までとなっています。引き続き温かいご支援をよろしくお願いします。

### 物品販売による支援を実施

南三陸町で被災した人たちが製作したマスコット等を、まるごと長門「旬」市場で販売したところ、多くの人にお買い上げいただきました。ありがとうございます。どうぞございました。



市民会議事務局 福祉課福祉係

TEL 23・1245

# 長門の

# People



## 仙崎出身19歳デビュー

シンガーソングライター しんたく ゆき こ 新宅 由貴子 さん

高校時代より音楽プロデューサーに才能を認められ、その誘いを受け今年1月に東京のCD製作会社と正式に契約。6月27日に念願のメジャーデビューを果たした新宅さんにこれまでとこれからを語ってもらいました。

言葉を覚えるより先に歌を歌っていた幼少期

音楽好きの家族と過ごすうちに自然と音楽が好きになり、漠然と歌手を夢見ていた

幼少時代。「歌手になるならこれくらい歌えなきゃ」と母に聞かされたホイットニー・ヒューストンの歌声。涙が止まらなかつた。世の中にはこんなに歌がうまい人がいる。悔しかった。これを機に夢が目標へと変わった。

さまざまな舞台で

歌い続けた学生時代

文化祭では、毎年ステージで歌やダンスを披露していた。本番が近づくと、シーサイドスクエアで毎日練習をして友達や先生も応援してくれた。高校では、地元の先輩アーティストの誘いでライブに初参加。以降、長門市を中心に県内で本格的な音楽活動を開始。CMソングを手がけるな



高校3年生の文化祭で熱唱

どその活動を広げていった。進路を決める頃には、進学をしないで歌手になることを決意。周りの人と違うことをすることはとてもつらく、一人取り残された気持ちになり悩んだが、家族や友達、仲間を支えられ勇気が湧き、自分には歌手しかないんだという強い気持ちを抱いた。

私は人に恵まれている

デビューのきっかけを与えてくれたプロデューサーとの出会いは、ラポールゆやで行われたライブイベント。山陽小野田市出身のソルジェンティの誘いを受けコラボレーション。歌声を聴いたプロデューサーがライブ後に声をかけてくれた。この出会いで

夢への第一歩を踏み出すことができた。いろいろな人に支えられ励まされここまで来れた。その人たちのためにもそして自分の夢のためにも今を精一杯生きていく。



夢は必ず叶う…

歌のうまい人は星の数ほどいる。これからが大変。長門の海や山など多くの自然を見たり、童謡詩人金子みすゞの詩を学んだりしたことで今の感性が生まれた。生まれ育ったこの地を拠点としてまずは県内で活動。山口県にいるたくさんの仲間と刺激し合って向上していきたい。そしていつの日か全国に羽ばたいていけるような歌手になって夢の武道館に…。